

大正昭和の源流

国立美術館
コレクション
ダイアローグ



この度、岐阜県美術館では国立アートリサーチセンターによる国立美術館の収蔵品活用事業「コレクション・ダイアローグ」から国立工芸館との協働により「大正・昭和の源流展を開催します。国立工芸館は1977年の開館以来、工芸・デザイン専門の国立美術館として国内外の工芸・デザイン作品を収集、調査研究し、多種多様な魅力を発信し続けています。本展では国立工芸館の豊かなコレクションのうち、特に大正・昭和初期に流行したスタイルに焦点をあてています。ジャポニスム、いわゆる日本趣味の影響を受けた19世紀末のアール・ヌーヴォー、20世紀初頭のアール・デコ様式を受けて、日本では自国固有の美意識と結びつき、大正ロマンや昭和モダン・モダンボーイといったモード／流行を生み出し、人々の日常に活気を与えました。当時の世相を反映したアクセサリーや家具、金属工芸やガラス工芸、雑誌、ホスターなどは今なお輝きを失っていません。国立工芸館所蔵の工芸・デザイン作品152点を中心に、岐阜県美術館所蔵品から絵画、工芸作品をあわせてご紹介します。

当時の紳士・淑女が愛した工芸からファッションまで、時代を鮮やかに彩った、ロマンティック・モダンをお楽しみください。

や昭和モダンボーイといったモード／流行を生み出し、人々の日常に活気を与えました。当時の世相を反映したアクセサリーや家具、金属工芸やガラス工芸、雑誌、ホスターなどは今なお輝きを失っていません。国立工芸館所蔵の工芸・デザイン作品152点を中心に、岐阜県美術館所蔵品から絵画、工芸作品をあわせてご紹介します。

6



SOURCES OF JAPANESE MODERNITY



9



観覧料 一般1,000円[900円]、大学生800円[700円]、高校生以下無料

*[]内は20名以上の団体料金 *身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費(指定難病)受給者証または登録証の交付を受けている方とその付き添いの方(1名まで) 無料 *マイリロIDが利用できます



関連イベント

2025年11月29日(土) 13:30-15:00

記念講演会「国立工芸館の工芸とは」

講師:唐澤昌宏(国立工芸館 館長) 場所:講堂(無料、事前申込み不要、定員170人)

2026年1月17日(土) 13:30-15:00

美術講座「大正・昭和のロマンティック・モダン・ファッションと文化」

担当:齋藤智愛(岐阜県美術館 学芸員) 場所:講堂(無料、事前申込み不要、定員170人)

2026年2月7日(土) 13:30-15:00

美術講座「大正ロマンとモダン:金工の不思議な魅力を探る」

担当:正村美里(岐阜県美術館 副館長兼学芸部長) 場所:講堂(無料、事前申込み不要、定員170人)

2026年2月15日(日) 13:30-15:30(予定)

コレクション・ダイアローグ×クロストーク&ワークショップ

クロストーク 13:30-14:30 / ワークショップ14:30-15:30

トーク登壇者:可見光生(美濃加茂市民ミュージアム 館長)

大谷省吾(国立アートリサーチセンター 作品活用促進グループリーダー、東京国立近代美術館 副館長)

日比野克彦(アーティスト、岐阜県美術館 館長、東京藝術大学 学長)

*ワークショップについては後日Webサイトなどで情報公開

場所:多目的ホール、館内(無料)

2025年11月21日(金)、2026年1月16日(金) 18:00-18:45

夜間開館ギャラリートーク

場所:展示室3(事前申込み不要、要観覧券)

2025年11月30日(日) 14:00-15:30

大正・昭和「モードの源流」×ナンヤローネ アートツアー

担当:岐阜県美術館教育普及係

場所:多目的ホール、展示室3(事前申込み、要観覧券)

2026年2月1日(日) 10:30-12:00、13:30-15:00

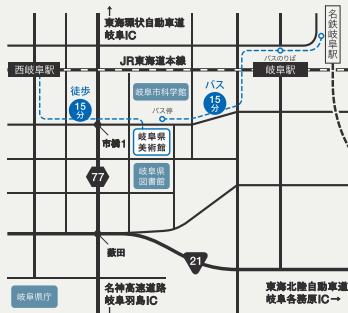
大正・昭和「モードの源流」×ナンヤローネ アートアクション

担当:岐阜県美術館教育普及係 場所:多目的ホール(無料)

2025年12月14日(日)、2026年1月11日(日)各日14:00-(40分程度)

パイプオルガン定期演奏会 場所:多目的ホール(無料)

*事前申込みの有無、申込み方法など詳細については当館のWebサイトをご確認ください。



岐阜県美術館 THE MUSEUM OF FINE ARTS, Gifu

〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22 Tel.058-271-1313/Fax 058-271-1315 https://kenbi.pref.gifu.lg.jp

交通案内 ■公共交通機関利用の場合■JR東海道本線西岐阜駅南口から徒歩(約15分)/岐阜バス(鏡島市橋)JR岐阜駅南口6番乗場または名鉄岐阜駅南口1番乗場から「市橋」行きに乗車(約15分)/「県美術館」下車/岐阜市コミュニティバス:西ぎふ・くるくるバス「県図書館・美術館」下車[1日7便、市橋地区循環]/すまいるバス「県図書館・美術館」または「県美術館」下車[1日9便、三里・本荘地区循環]■タクシー利用の場合■JR岐阜駅または名鉄岐阜駅から乗車(約10分)/JR西岐阜駅から乗車(約5分)■自家用車利用の場合■名神高速道路 岐阜羽島ICから県庁方面へ北進約10km/東海北陸自動車道 岐阜各務原ICから国道21号線を西進約10km/東海環状自動車道 岐阜ICから県道77号線を南進約10km *無料駐車場有、「おもいやり駐車場」(美術館北東)6台有

国立工芸館 National Crafts Museum

国立アートリサーチセンター National Center for Art Research

Collection DIALOGUE

①ルネ・ビュトー《幾何学文花瓶》1935-40年頃 国立工芸館蔵 撮影:エス・アンド・ティフォット②杉浦非水《トモエ石硯》1926年 国立工芸館蔵 前期展示(11/15-12/25)③長縄士郎《店粧》1952年 岐阜県美術館蔵④作者不詳《イヤリングとイヤリング掛け》1920-30年代 国立工芸館蔵 撮影:野村知也⑤各務鎮三《飾金 銘祈り》1929年 岐阜県美術館蔵⑥ルネ・ビュトー《花模様大皿》1920-25年頃 国立工芸館蔵⑦内藤善治《壁面の時計》(部分) 1927年 国立工芸館蔵 撮影:藤川清⑧ルネ・ラリック《ブローチ 桑の木と甲虫》1900年頃 国立工芸館蔵 撮影:アローアートワークス⑨杉田禾堂《用途を指示せぬ美の創案》1930年 国立工芸館蔵 撮影:藤川清⑩竹久夢二《少年》1930-34年頃 国立工芸館蔵 撮影:斎城車 後期展示(1/6-2/15)